仕　様　書

件　　名：令和８年度沖縄県漁業調査船「図南丸」第一種中間検査

１ 目　的

船体入渠のうえ、仕様書明細に基づき船体・機関及び補助機関等について修理調整を行い、中間検査を合格させ、安全運航を可能とさせる。

２　引渡期限

令和９年２月 26 日（金）とする。また入渠期間は 45 日以内とする。

３　引き渡し場所

対象船舶「図南丸」の引き渡し及び引き取り場所は造船所岸壁とする。

４　工事内容

別　紙（甲板部、機関部仕様書）

５　検　査

本契約の完了検査は、契約完了後実施するものとする。ただし、完了後に確認できない箇所については、実施中に行うものとする。

６　その他

（１）本契約は、本仕様書に基づき監督職員の指示監督に従い、誠意をもって実施するものとする。

（２）本仕様書及び実施方法等に疑義が生じた場合は、監督職員と協議しその指示に従うものとする。

（３）請負人は、本契約に係る一切の業務を監督するとともに、災害事故の防止に十分に留意し必要な対策を講じるものとする。

（４）請負人は、ドック工事完了後、船体全水洗い、船内外及び機関室、機関制御室に於いては保護用シート等取り外し後清掃・復旧するものとする。

（５）本入渠に係る糸満漁港、ドック間の往復燃料代は、ドック負担とする。

令和8年度「図南丸」第一種中間検査仕様書（甲板部）

番号	修繕項目	写真・備考
	中間検査項目	
1	**検査手続及び関連費用（一式）**	
2	**錨および錨鎖ドック底配列、計測および受検復旧 （片舷6節合計12節）**	写真要
3	**大錨・錨鎖及び錨鎖庫内清掃後、発錆部錆落とし全面塗装**	写真要
-1	錨鎖及び錨鎖庫内清掃(両舷アンカーはドック底まで繰り出すこと)	
-2	錆あれば錆打ち（本船錨鎖は亜鉛引きしてあるので発錆のない箇所は錆打ち不要）	
-3	大錨および一部錨鎖類の発錆箇所は塗装（現場指示による）	※錨鎖連結部マーキング要
	使用塗料（中国塗料株式会社製） ガルバナイトNo.400プライマー、ユニマリン上塗り黒（ウレタン用シンナーA）	
4	**フリーイングポート（放水口）開閉調整・受検：船首（7ヶ所）船尾（6ヶ所）**	写真要
5	**開口部パッキン、ハンドル、クリップ、蝶ネジ調整・受検**	写真要
-1	**開口（水密扉）整備・調整 ※発錆箇所ある場合は錆打ち、塗装**	※パッキンは新替すること
	船首倉庫、甲板長倉庫、塗料庫、右舷全通通路（船首尾、倉庫×2、空調機観音）、	チョークテスト実施
	居住区（右舷・船尾）、倉内ソナー室および船首スラスター室（合計12ヶ所）	
-2	**開口（ハッチ）整備・調整 ※発錆箇所ある場合は錆打ち、塗装**	※パッキンは新替すること
	フォクスル、居住区・機関室エスケープ、舵機室×2、錨鎖庫、スラスター室	チョークテスト実施
	機関開口部（合計8ヶ所）	
-3	**防火扉動作確認**	※気密性を確保すること
	機関室入口・機関監視室階段入口（合計2ヶ所）	
6	**弁遠隔金物開閉動作確認（F.P.T.タンク船尾側）・受検**	写真要
	甲板長倉庫内主甲板（1ヶ所）	※開閉が困難な場合は調整
7	**膨張式救命筏(20人用×2台)および膨張式救命胴衣（32人分）受検復旧**	写真要・ボンベガス充填
	膨張式救命筏：型式 FRN-SN-20型(A PACK)、救命胴衣：型式 RTJ-10R	
8	**救命浮環（4個）(船名等諸文字記入)及びロープ取替 受検**	写真要
9	**粉末消火器および泡消火器詰替え 受検**	
	粉末消火器（7本）：型式 SA-17NR、泡消火器（2本）：型式 SF-10P	
	設置場所：船内備え付け「救命及び火災制御図」参照	
10	**持ち運び式炭酸ガス消化器（2本） ガス充填 受検：型式 SC-11**	写真要
	設置場所：ドライ研究室、機関監視室	
11	**FWT,FOTエア抜き頭部調整受検**	写真要
	FWT(4ヵ所)、FOT(7ヵ所)	
12	**法定信号取替**	
	取替：落下傘信号(4)、火せん(2)、自己発煙信号灯(2)	
	自己点火灯(2)：電池取替	
13	**シーチェストストレーナー開放・内部清掃・塗装・サンダー掛け・亜鉛板取替え・組付け**	写真要
-1	開放	
-2	清掃・サンダー掛け	
-3	塗装 （プライマー塗り3回以上：バンノー1500RZ、上塗り2回以上：シープレミア1000PLUS）	
-4	亜鉛板取替：ストレーナー3ヶ所、亜鉛板（下記修繕仕様書＃6のとおり）	
	塗装及び一般修繕関係	
1	**船体上下架（一式） ※ポンプジェット・各送受波器が船底タンク部にあるため架台調整要**	写真要
2	**居住区内主要部養生（操舵室、ドライ研究室、通路、食堂、賄室等指定する場所）**	
3	**船体カキ落とし清水洗い※ADCP送受波器 要養生（ネジ穴部含む）**	写真要
-1	高圧清水洗い **※船底の暴露している送受波器面はスポンジタワシ清掃後要養生**	
-2	送受波器ドーム側面ガット開放、内部清水洗い **※内部スポンジタワシ等で清掃・塗装・復旧まで**	
4	**船体塗装工事(船底、外舷、舵板、水線、舷側、船名等)**	写真要
-1	発錆部錆打ちおよびサンダー掛け	
-2	錆打ち箇所バンノー1500RZタッチアップ（上塗りとは異なる色で3回塗り以上）	
-3	ブルワークトップから外板及び船側・船底までオールオーバー塗装2回、文字・マーク等黒塗装	
	使用塗料 （中国塗料株式会社製）	
	○T/U ： バンノー1500RZ （エポキシ用シンナーA）	
	○外舷部 ： ユニマリン上塗、白、黒等 （ウレタン用シンナーA）	
	○水線部 ： シープレミア1000PLUS（塩ゴム/アクリ用シンナーA）	
	○船底部 ： シープレミア1000PLUS（塩ゴム/アクリ用シンナーA）	
5	**内舷部（右舷全通通路含む）、甲板構造物全塗装（マスト、船橋・居住区外板、甲板、甲板機械、煙突等）**	写真要
-1	**デッキ部ゴム板撤去・陸上にて保管（番号等で設置位置を管理すること）**	
-2	発錆部錆打ち、サンダー掛け	
-3	錆打ち箇所バンノー1500RZタッチアップ（上塗りとは異なる色で3回塗り以上）	※諸文字塗装含む
-4	上塗り全塗装1回 **※塗装面がザラザラ仕上げとならないよう工夫して施工すること**	※ハンドレール・パイプ類は必ず刷毛塗り
	使用塗料 （中国塗料株式会社製）	※その他ローラー刷毛使用の場合は毛足の短い
	○T/U ： バンノー1500RZ （エポキシ用シンナーA）	ののみ使用
	○上塗塗料 ： ユニマリン・白、グレー（N-5）、黒・黄・赤・青・緑等各色 （ウレタン用シンナーA）	
	シークレーン使用塗料（日本ペイント株式会社）	
	○ニッペ ウレトップ TDNプラネットブルー	

6	**保護亜鉛取替（合計43枚）**	写真要
-1	取替部品：亜鉛板8F(22枚)・4F(17枚)	
	取替位置：船尾・舵（16枚）、キール（12枚）、シーチェスト（7枚）、ポンプジェット（4枚）	
-2	取替部品：ZAP-AEL B-1/2（4枚）	
	取替位置：全周ソナー繰り出し後の指定箇所	
7	**船尾軸保護アルミ取替（1組）**	写真要
	部品番号：396802120（IHI原動機） D340d260T25 15キリP300（提携先図番）	
8	**清水タンク（F.P.T.含む）開放、清掃、必要箇所タッチアップ、復旧**	写真要
	発錆部錆打ちおよびサンダー掛け	
	錆打ち箇所および監督員指定箇所タッチアップ3回塗り以上	
	使用塗料 （中国塗料株式会社製） 修繕用クリーンキープ（グレー色）	※タンク内はクリーム色が全塗装されています。
	各タンク容積 F.P.T. 8.82㎥、F.W.T.(P) 10.88㎥、F.W.T.(C) 12.94㎥、F.W.T.(S) 10.88㎥	
	※塗膜硬化後タンク内清掃し清水満載。5日以上放置。その後全排水し再度清水満載。	
9	上甲板及び船橋甲板 アイプレート新設	
10	船外清水蛇口付近へ衛生用品置台新設（5箇所）	
11	既存歩み板の立入規制設備（アルミ製ゲート・標識）新設	
12	船内居住区床 ワックス塗布（塗布前にポリッシャー等で塗布面を綺麗にすること）	
13	操舵室内無線機用スピーカー移設	
14	ウェット研究室内 エアコン1台新設（製品：ダイキン工業株式会社製、品番：S366ATCS）	
15	操舵室外サイドミラー新設（両舷）	
16	船首楼及び上甲板作業灯（型式：LFD-160F1-S）新設 （3個）	
17	船橋甲板電源コンセント新設（水密BOX付、1ケ）	
18	衛生区画蛇口増設（2か所）	
19	ワープネット作業灯の点灯・消灯操作用スイッチ新設	
20	幹縄格納装置部への昇降用梯子手摺新設	

※本入渠に係る本船甲板部支給品はありません。すべて、ドック支給品でまかなうこととします。
※泡消火器2本（型式：SF-10P）は、使用期限が1年のため、ドック期間の後半に詰替えを行うこと。
※本仕様書に記載のないJG指定必須検査も実施すること。
※沖縄県漁業調査船「図南丸」尺度 44.30×7.60×3.25 222G/T 航行区域（乙）
※下架後、艤装岸壁にて清水満載。
※ADCP送受波器の船底蓋は本船にて開放、復旧（塗装前の養生及び養生剥がしはドックにて行うこと。）

令和8年度　漁業調査船「図南丸」 第1回中間検査　機関部仕様書 1/4

主機関　IHI　6MG26HLX-5N

1	シリンダーカバー開放受検	
-	取外し、掃除、点検	
-	燃焼面、諸弁篏合部　カラーチェック	
-	水路部薬品洗浄スケール水垢掃除施行施工	
-	各種パッキン、Oリング、吸排気ガスケットパッキン、ゴムジョイント、	
	ヘッドガスケット　他取替	
2	吸排気弁、始動弁、指圧器弁掃除、摺合わせ受検	
-	各種パッキン、Oリング、弁、バネ、バネ受　他取替	
3	ピストン抜出掃除受検	
-	燃焼面、リンググローブ、ピストンボスリブ、	
	ピストンピン、ピストンピンメタル　カラーチェック	
	不具合部品　他取替	
4	クランク軸受検	
-	主軸受開放掃除点検	
-	クランク軸、軸受メタル、クランクピン　カラーチェック	
-	主軸受メタル、クランクピンメタル、主軸受締め付けボルト　取替（不具合部品）	
5	排気タービン過給機開放掃除受検	
-	ケーシング肉厚測定、バランス調整	
-	廻り止め座金、各パッキン、Oリング、プレフィルター（2枚）、	
	各軸受け、排気管ラギング（不良個所）　他取替	
6	燃料噴射弁開放掃除受検	
-	圧力調整（33MPa）	
-	本体側ノズル当たり面研磨	
-	ノズルチップ、銅パッキン、Oリング、平行ピン、圧力調整バネ　他取替	
7	主機LOサンプタンク掃除受検	
-	測深マンホール開放残油抜き取り掃除復旧	
-	パッキン　他取替	
8	主機クランク室潤滑油抜き取り掃除点検	
-	クランク室ドアガスケット（12枚）　他取替	
9	主機潤滑油クーラー開放掃除受検	
-	水路部防錆塗装	
-	水圧テスト	
-	各種パッキン、Oリング　他取替	
10	主機インタークーラー開放掃除受検	
-	水路部防錆塗装	
-	水圧テスト	
-	各種パッキン、Oリング　他取替	
11	機付潤滑油ポンプ開放掃除受検	
-	圧力調整弁分解掃除点検	
-	各種パッキン、Oリング　他取替	

令和8年度　漁業調査船「図南丸」 第1回中間検査　機関部仕様書 2/4

主機関連補機

1	減速機点検口開口受検	
-	炉器掃除点検（60メッシュ3個、150メッシュ3個、350メッシュ1個）	
-	残油抜き取り、補給（本船支給）	
-	各種パッキン、Oリング　他取替	
2	減速機用潤滑油クーラー開放掃除受検	
-	水路部防錆塗装	
-	各種パッキン、Oリング、保護亜鉛　他取替	
3	増速機用潤滑油クーラー開放掃除受検	
-	水路部防錆塗装	
-	各種パッキン、Oリング、保護亜鉛　他取替	
4	始動空気槽開放掃除受検	
-	諸弁開放掃除点検、擦り合わせ	
-	各種パッキン、Oリング　他取替	
5	減速機予備潤滑油ポンプ吸入弁開放点検整備	

計測、その他

1	各種計測	
-	クランクデフレクション	
-	ライナー内径	
-	ピストン外径	
-	ピストンピン外径、ピン、メタル隙間	
-	クランクピン外径、ピン、メタル隙間	
-	クランクジャーナル外径、軸、メタル隙間	
-	防振バネ高さ	
-	軸芯（減速機側及び増速機側RATO継手取り外し計測）	
-	各種計測表提出	
2	主機防振バネシム調整（メーカー立合い）	
-	シム調整（必要ある場合）	
3	主機遠隔操縦装置点検受検	
4	各種効力試験	
-	各圧力、温度、非常停止等	
-	各種試験結果提出	
5	海上試運転、各部点検調整一式	

令和8年度　漁業調査船「図南丸」 第1回中間検査　機関部仕様書 3/4

補機関　ヤンマー 6HAL2-WDT ×2
発電機　大洋電機 TWY31C 225kVA×2

補機関（2台）

1	燃料噴射弁開放掃除点検	
-	圧力調整23.5±0.5MPa	
-	ノズルチップ、ノックピン、Oリング、各種パッキン　他取替	
2	エアモーター、エアフィルター（×2）、減圧弁各整備	

電気、その他

1	機関監視室、集合始動基盤、各分電盤絶縁抵抗測定点検	
2	第1、2空調装置開放掃除点検	
-	コンデンサ開放掃除	
-	フィルター交換、グリスアップ、Vベルト点検	
-	各種パッキン、Oリング　他取替	
3	海水ライン犠牲菅点検整備（7ヵ所）及び作成　（2か所）冷却海水P、サニタリーP	
4	賄いディスポーザー開放整備	
-	パッキン、ベアリング　他取替	
5	船底弁、波止弁、船外弁開放掃除摺合わせ受検	
-	船底弁6個（弁箱ごと陸揚げ）、波止弁6個、船外弁3個	
-	パッキン、グランドパッキン　他取替	
6	廃油タンク、船底ビルジ処理掃除	
-	廃油処理、内部掃除　証明書発行	
7	潤滑油搭載（約3400L）本船支給	

補機、ポンプ

1	主冷却海水ポンプ、モーター開放掃除点検	
-	ベアリング、各種パッキン、メカニカルシール　他取替	
2	サニタリーポンプ、モーター開放掃除点検	
-	ベアリング、各種パッキン、メカニカルシール　他取替	
3	セントラルクーラー開放掃除（プレート139枚）1台（No.1）	
-	各種パッキン　他取替	
4	ビルジポンプ、モーター開放整備受検	
-	ベアリング、各種パッキン、メカニカルシール　他取替	

令和8年度　漁業調査船「図南丸」 第1回中間検査　機関部仕様書 4/4

軸系、スラスター装置、舵機

1	可変ピッチプロペラ掃除	
-	塗装（先端　中国塗料：ペラクリンセット）	
-	グリス新替え（エピノックグリースAP（N）O）約21Kg	
-	船尾管隙間計測、計測表提出	
-	各種パッキン、Oリング　他取替	
2	ポンプジェット掃除	
-	インペラ―、シーチェスト内掃除	
3	舵機整備受検	
-	作動油交換（スーパーハイランド32　160L）	
-	サクションフィルター洗浄	
-	リターンフィルター交換	
-	舵軸隙間計測、計測表提出	

予備品注文

1	アメロイド日本サービス製各種フィルター	
	主機潤滑油清浄機　YSフィルター（型式27/108（YS-400））　1セット	
	燃料清浄機用ROTフィルター（型式Type B）　2セット	
2	主機関	
	TBフィルタリング　番号976982780　2個	
	クリレックス　L-501　20kg　6缶	
3	発電機関	
	クリーナー（プリ125X910 番号148616-18360）4個	
	エレメントKIT（ジュンカツユ　番号126650-35350）4セット	
	フィルター（ネンリョウ8ミクロン　番号41650-501140）4セット	
	エレメント（FOユスイブンリキ　番号120324-55760）4個	
	ガスケット（番号X0582810173）10個	
4	発電機（太洋電機　型式TWY-31C 225kVA）	
	エアーフィルター　番号GM414032、GM411913-1　　各4セット	
5	空調用ファンベルトテンションメーター　2個	

すべての項目に適用
※1　分解整備時のパッキン、Oリング類、各シール類等消耗品も交換すること。（造船所手配）
※2　各整備前後等写真で記録し、整備前と後が分るようにし提出すること。
※3　分解時交換不要の部品は予備として本船保管とする。（担当者確認）
※4　整備後、組立復旧前に担当者の確認を得ること。
※5　整備で汚れた個所、ビルジ等は処理し掃除すること。また、剥がれたペンキなども塗ること。
※6　船内、機関室、監視室等汚れそうな場所は養生するなどし、作業後は掃除すること。
※7　造船所以外での立会が必要な場合、経費等は造船所手配とする。